

平成30年度

# 教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

# I 点検・評価の主旨について

## 1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

## 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、平成30年度の実施状況と見込みを取りまとめ、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施しました。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取しました。

## 4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、令和元年度の所管事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（3月）
- ②4月上旬までに、平成30年度の実施状況と見込みを取りまとめ、報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ③学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。また、点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ④教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。また、点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ⑤報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

# 目 次

<b>基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成</b>			
<b>I 点検・評価の主旨について</b>			頁
1	点検・評価の主旨		1
2	点検・評価の対象		1
3	学識経験者の知見の活用		1
4	報告書の作成		1
<b>II 点検・評価の結果について</b>			
<b>基本目標</b>			
評価項目・内容		担当課	頁
<b>1 信頼と安全を築く教育環境の整備充実</b>			
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	教育総務課	3
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実努める		4
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実努める		5～6
4	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		7
<b>2 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化</b>			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	学校教育課 教育研究所	8
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティーの形成を図る		9
3	共感的・協働的な学び合いへの進化を図り、「学びの交響楽」を創造する		10
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する		11
<b>3 ふるさとの誇りと未来をはぐむ生涯学習の推進と支援</b>			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 勤労青少年ホーム 女性センター	12～13
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		14～18
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		19
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		20～23
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		24
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		25
<b>4 郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する</b>			
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	歴史文化課	26
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する		27
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える		28
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		29
<b>5 市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充</b>			
重点施策			
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	スポーツ振興課	30
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		30
3	2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		31
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		31
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する		32
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める		32

# 重点施策点検・評価表

1-1

基本目標		
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実	
重点施策		
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	担当課(館)
	① 学校の改修・修繕など、経年劣化対策の実施による、快適な学習環境の整備	教育総務課
	活動内容	建設後25年以上経過した小中学校が25校中22校と約9割となり、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、小規模から中規模のものは改修内容の分類、必要工事費総額の算出により、計画的に工事を実施する。大規模改修や建替えについては、国の補助金活用による実施を検討する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が増加傾向にあるが、学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施している。計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断しながら、限られた予算を最大限に活用して施工した。 学校施設の老朽化対策は、イニシャルコスト優先よりも、長寿命化に向けたライフサイクルコストを重視した改修にシフトする方針としたことを踏まえ、3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定した。
	課題等	学校施設の改修には文部科学省の国庫補助金の活用が必須となるため、今後策定される「大館市学校教育環境適正化計画」を反映させ、補助採択に向けて長寿命化計画の内容を充実させる必要がある。 <b>取組の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	バックデータ(大館市学校施設長寿命化計画)がしっかりしている。財源の確保を研究しながら、老朽化対策、基本方針にのっとり進めてほしい。また、目標どおり進められている点について、大きく評価したい。教育総務課は、学習環境の整備、学校教育、その他の教育環境に大きく関わる、そういう意識を持って取り組んでいただきたい。優先順位をどう算出するか難しい問題であるが、研究しながら進めてほしい。
	② 文部科学省のインフラ長寿命化計画に基づく「個別施設計画」の策定	教育総務課
	活動内容	・学校の大規模改修や建替え事業は、多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)で実施となる。 ・平成32年度から、国の事業採択には市の個別施設計画の提出が義務付けられることから、昨年度市で作成した「個別施設計画」をベースに、文科省が定めた項目を追加し作成する。 ・今後、作成する個別施設計画を踏まえ、大規模及び建替改修年次計画を策定し、H31年度から補助事業着手を可能とする。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) これまで改築を前提としていた老朽化対策は、長寿命化改修に方向性を転換し、今後の方針を定めた「大館市学校施設長寿命化計画」を3月に策定した。 しかし、「大館市学校教育環境適正化計画」が未確定のため個別計画を反映させることが出来ず、当初計画していた平成30年度中の補助事業申請は見送った。 今後は、「大館市学校教育環境適正化計画」の策定に合わせて年次計画を作成し、補助申請の準備を進める。
	課題等	補助申請に必要な個別施設計画には、今後策定される学校環境適正化計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性や、今後必要となる維持・更新コストなどを反映させ、改訂版の作成が必要となる。 策定した長寿命化計画には学校教育環境適正化計画が反映されていないことから、改修の優先順位を定め、国の補助金が充当される長寿命化改良事業の採択に向けた計画書の見直しと内容充実に取り組む必要がある。 <b>取組の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	目標を大幅に下回る結果となったが、原因がはっきりしている。そのことが大事である。次年度何をやるのか具体的に見えてくるので、その方向に向けて進んでもらいたい。長寿命化計画が策定できたことにより、申請も適正に行われることを期待したい。	

# 重点施策点検・評価表

1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 新たなスポーツ、レクリエーション施設の整備
	教育総務課
活動内容	<p>・「二ツ山総合公園」の幼児エリア整備工事は、親水広場や休憩施設を、本年夏前に使用開始を可能とし、全体整備は、11月末までに完了させる。</p> <p>・「花岡総合スポーツ公園」は、昨年度の広場、多目的プールや多目的屋内運動広場に加え、本年度、体育館と武道場の改修を11月末までに完了させ市民が活用できるようにする。その他の公園として活用が有効な施設について、市民要望等によりスポーツ施設の確保、交流人口の増加と地域の活性化に繋げる施設整備を行う。</p>
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>二ツ山総合公園幼児エリア整備工事は、幼児が集う親水広場を7月にオープンさせ、全体整備を11月末までに完成させた。また、3月にムービング遊具も追加で整備した。 花岡総合スポーツ公園は、体育館及び武道場を改修し、12月末までに工事を完了した。 いずれの施設もオープン直後から市民に利用され、新たなスポーツゾーン、レクリエーションゾーンとして今後の交流人口の増加につなげていきたい。</p>
課題等	<p>花岡総合スポーツ公園は、県から譲渡を受けた際に大館市民のみならず広域的な利活用を図るよう要望を受けている。 今後は、二ツ山総合公園も合わせて施設の利活用を広く周知し、有効活用されるよう努める。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>このような施設を知らない子ども、親もいるので、広報などで周知させてほしい。目標を上回る活動内容であったことは大きく評価したい。</p>
	② 適切な施設補修の実施
	教育総務課
活動内容	<p>長根山陸上競技場や二ツ山総合公園のトイレ洋式化工事など、各施設の快適性、安全性、美観等に配慮した計画的な整備・補修を実施する。</p>
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>2020年東京パラリンピックに出場するタイのボッチャ・陸上競技チームが、事前合宿を大館市で行うことを決定したことを受け、長根山陸上競技場のトイレ洋式化工事を完了した。 また、インバウンドの受け入れやスポーツ合宿の誘致促進に向け、二ツ山総合公園のトイレ洋式化工事を実施するなど、各スポーツの施設修繕・改修工事を行い、利用者が快適で安全に利用できる施設整備に努めた。</p>
課題等	<p>1年後に開催する2020東京パラリンピックや、今後のスポーツによる交流人口の拡大やインバウンド受け入れ施設として、遅滞なくトイレ洋式化や施設の充実・改修を進めていく必要がある。</p>
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	<p>受け入れが決まったことにより、このような活動、事業が生まれた。今回のつながりが、スポーツだけでなく文化・交流の拡大につながっていくと思う。期待したい。</p>

# 重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 市民文化会館の外壁大規模改修事業の完了
	教育総務課
活動内容	昨年度から実施している、外壁改修第二期工事を10月末までに完了させる。同時に、駐車場不足などの残された課題があることから、新たな事業計画の策定を含め課題解決に取り組む。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 外壁改修工事は、貸館業務に影響を及ぼすことなく、当初の計画どおり10月までに完成した。これに合わせて、市の財源確保及び企業のノウハウを活用した施設運営を市民サービスの向上を目的として、平成31年度からネーミングライツを導入することが決定した。 課題となっている駐車場不足や前広場の改修は、緑地の駐車場化や民有空き地等の活用の検討に継続して取り組む。 また、かねてからエレベーター設置の要望を受けていたが、1階を2階同様に利用できるように展示室の利用方法を緩和し、和室同様に利用できるように簡易畳を配置するなど柔軟に対応できるようにした。
課題等	平成23年から継続して実施してきた改修工事と外壁改修工事が終了したことで、今後20年間の利用に係る大規模な補修工事は終了した。今後は、駐車場不足などの残された課題については、解決に向けて近隣公共施設との敷地活用調整や費用対効果の検証に取り組む必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ネーミングに「鹿鳴」がついているところに文化会館らしい響きを感じる。新しい形でスタートできることを評価したい。駐車スペースについては、難儀しているが、以前よりも別の箇所も使えるようになってきていることは評価したい。利活用が多いところは、休む暇がないため、それに対応できるように努力してほしい。
	② 栗盛記念図書館のエアコン設置など、社会教育施設の維持管理及び充実
	教育総務課
活動内容	図書館資料室などのエアコン整備、田代公民館山田分館の屋根葺き替え工事他の実施により、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 田代公民館山田分館屋根葺き替え工事などの社会教育施設の維持改修や、鳥潟会館・釈迦内体育館のブロック塀などの安全対策工事を実施し、社会教育施設の良い環境整備に努めた。 その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、補正で予算を確保し年度内に全て完了させた。
課題等	公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用することとしている。目的に沿った施設の整備・充実や有効かつ活発に活用されるよう取り組んでいく必要がある。 今後、施設統廃合による空き公共施設の増加が予想されるため、様々な活用方法を模索し、積極的な有効活用を図る。
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	安全対策は、何よりも緊急にやらなければならない。それを優先させてやったということは評価したい。空き公共施設をどのようにしていくのか、工夫が求められる。何に使えるのか、事例等を集めながら検討、研究を進めることが望まれる。

# 重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	③ 社会教育施設の耐震対策事業の実施		教育総務課
	活動内容	耐震性能を有していない郷土博物館の耐震工事を年内に完了させ、利用者の安全と安心を確保する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	安心安全な施設の存続が図られたことから、積極的な利活用に向けた利用者の増加などの方策を検討していく必要がある。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	耐震性の確保は、安全な環境づくりの大前提になる。所管する全ての教育関係施設において、確保されたことを大きく評価したい。利活用に関しては、市民の知恵を募る(市民の要請を反映させる)など、方向性を持たせながら考えてほしい。	
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用及び整備		教育総務課
	活動内容	・ドームの更なる活用による交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋げるため、16年ぶり開催のコンサートを成功させる。 また、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、新たなイベントを創造する。 ・第3駐車場の舗装改修工事を実施し、駐車場の整備充実にを図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	アンケート調査によると、今後も引き続きコンサートの開催を望む声が多かったことから、騒音問題など様々な問題をクリアして、事業の継続の可否を検討していく。 また、コンサート以外でドームの利活用を推進するため、ネーミングライツ・パートナーとも連携しながら、野球大会や祭事など集客力の見込まれる様々なイベントの開催を模索し、今後の新たな展開を図っていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	集客能力の高いアーティストの招致、市民のニーズに配慮しながらイベントを計画してやってもらいたい。市活性化のキーポイントの一つであることを意識してほしい。		

# 重点施策点検・評価表

1-4

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
4	大館の教育の理念と実践について、市民の周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
	活動内容	<p>・教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確な時期に行い、協議・討議を諮り、ホームページ等で議事録を公表する。</p> <p>・総合教育会議の議事録、教育委員会点検評価の公表などにより、教育委員会の活動を市民並びに全国に発信し、大館型アクティブラーニングの周知と、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。</p> <p>・開かれた教育委員会としてより透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</p>	
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表して、教育委員会の活動内容を理解していただくとともに、施策の取り組みの透明化を図った。</p> <p>また、教育委員会の重点施策の点検・評価について、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保し、公表することにより教育委員会が進める大館の教育の理解に努めた。</p> <p>ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めるとともに、各世代の多くが使用するスマートフォンに対応した表示ができるよう改良し、機能の充実に努めた。</p>	
	課題等	<p>常に最新情報の発信と更新を行い、ホームページ閲覧者にとって、さらに分かりやすく利用しやすい環境の整備に努める。</p> <p>全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に対して周知を図り、市が取り組む大館の教育への理解を得ることが大切である。</p>	取組の方向性
学識経験者等の意見	<p>教育委員会のホームページにこれだけのアクセス(平成30年度:8,397件)があるということは、かなり注目されていることの証左。教育委員の会に諮るなど、手順を適切に踏んでホームページを作っていることは大変重要なことだと思う。説得力のあるホームページであり、また見たくなる、開きたくなるホームページになっている。ホームページは、市民に対する発信であると同時に、大館市民そのものを全国に発信していることにつながっていると思う。</p>		
	活動内容		
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p>	
	課題等		取組の方向性
			<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		

# 重点施策点検・評価表

2-1

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。 <span style="float: right;">担当課(館)</span>
	① 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成 <span style="float: right;">学校教育課 教育研究所</span>
活動内容	第8次学力向上の提言5カ年(平成26年～平成30年)最終年である。最終評価をもとに、おおだて型学力推進委員会で第9次学力向上の提言を作成する。
点検評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95～100%)                     <input type="checkbox"/> 目標どおり (80～94%)                     <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満)                     <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る                 </p> <p>各協議会の代表からなる「おおだて型学力推進委員会」が、5カ年の取組の成果を諸調査の結果から明確にし「第9次学力向上に係る提言」を作成。「共感的協働力を備えた未来大館市民を育成する『おおだて型学力』の確立」を、H31. 4月の市教育研究会総会で全教職員に、提言書を配付し、方向性について説明した。</p> <p>全国学力調査のアンケートから、この5年で「地域のために何ができるか考えることがある」「ボランティアに参加したことがある」「地域に関心がある」「人の役に立つ人になりたい」「夢や目標をもっている」などの意識を持っている小中学生の割合が、小中学生とも着実に伸びており、全国・県の平均を毎年上回っている状況である。ふるさとキャリア教育がしっかりと根づき、本市が目指す子どもの姿が具現化されていると評価している。</p>
課題等	<p>第9次学力向上の提言(3カ年)の周知と現場の実践への指導をきめ細やかに、来年度の中間評価、再来年度の最終評価で成果と課題を把握していく。</p> <p style="text-align: right;">取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> 単年度                 </p>
学識経験者等の意見	自己評価でも目標を上回ることができていてすばらしい。アンケートの内容が伸びていることは、人間力や未来大館市民の育成につながっている。プランナー、リーダーとしての先見性もすばらしい。この姿勢を継続して欲しい。
	② いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実 <span style="float: right;">教育研究所</span>
活動内容	いじめ防止基本法を浸透させる取組、いじめ・不登校調査の実施、関係機関との連携により、未然防止と早期対応をする。特に、不登校については、早期対応を全小中学校に徹底する。
点検評価	<p> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95～100%)                     <input type="checkbox"/> 目標どおり (80～94%)                     <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満)                     <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る                 </p> <p>いじめ、不登校の認知については、常々、児童の訴えや調査回答をそのまま報告するよう指示している。そのため、毎年、認知件数が多い。把握件数が高いことは望ましいが、H30年度には、いじめ解消件数が低く、解決しないままに年度を越す事案もあるのが心配である。不登校については、H29年度は87名、H30年度は89名となっており、横ばいの状態である。家庭の養育に問題があり、家庭ごと支援を必要とする事案も微増していることから、常に、関係機関と情報共有し継続して関わる体制を採っている。</p>
課題等	<p>児童生徒の問題行動の背景に、家庭の養育が要因としてある場合には、長期にわたっての相談や支援を必要とする。学校の生徒指導面が安定しているだけに、問題の深刻さに気付くのが遅れる場合もある。「大館でも起こりうる」ことを前提に、きめ細やかな見取りと、丁寧な対応を一層心がけるよう、学校に伝えていく。</p> <p style="text-align: right;">取組の方向性</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止検討  <input type="checkbox"/> 単年度                 </p>
学識経験者等の意見	社会を構成する最小単位は、家庭である。家庭の状況がよければ学校や地域、市町村が問題なく豊かな環境をつくれる。子ども、家庭の環境づくりは時間をかけないと難しい。一人ではなく、チームで対応してほしい。切り口となる先生を中心に取り組んでほしい。いじめの件数が多いことは、きちんと把握できていることだと思う。評価の「やや下回る」の裏には、関係者のたいへんな努力があると捉えたい。

# 重点施策点検・評価表

2-2

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る		担当課(館)
	① ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開		学校教育課 教育研究所
	活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業、ふるさとキャリア教育ステップアップ事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援、奨励し拡充していく。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	全小中学校が、夢事業(各校18万円)を活用して、地域との連携のもとに、特色ある百花繚乱作戦を展開することができた。H30年度、新たに立ち上げたステップアップ事業(応募型、30万円×3校)を活用した桂城小(花善とのコラボ弁当の開発・PR・販売)、成章小(陽気な母さんの店とのコラボ枝豆弁当の開発・PR・販売)、山瀬小(株式会社いしころとのコラボによるタケノコ和紙の製品化)で、活動を発展させることができた。応募からもれた扇田小や、CM作りの技術指導を探していた城南小には、プロジェクトを支援できる企業を紹介して、経費をかけずに児童の企画を実現する支援ができた。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	働き方改革とプロジェクトの活性化のバランスが大事。やらされる仕事は、負担感を感じるが、「これをやりたい」の意欲が増幅されていることは、これまでの積み重ねの成果である。各学校での取組に対して、財政的なバックアップができていたことは前向きな姿勢を誘発する要因となっている。 「目標を上回る」という評価も適切である。	
	② 地域に開かれた教育活動の取り組みによる元気の発信と地域貢献		学校教育課 教育研究所
	活動内容	企業博覧会の開催等、地元企業と連携したキャリア教育を推進する。保護者を含めた市民へふるさとキャリア教育の理念や各校の百花繚乱作戦を情報発信し、浸透させる。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	北秋田地域振興局と連携しながら、教育課程に位置付けた形で全中学生を対象とした企業博覧会を実施することができた。教育関係者以外の方々にも、「ふるさとキャリア教育」の理念を発信するため、まちづくり課のフォーラムや市議会議員への講話など授業以外の機会、学力向上フォーラムなど授業を参観できる機会を随時提供し、マスコミも活用した情報発信により、市民の理解がさらに進んできた。ふるさとキャリア教育の認知度は、上がってきているが、さらに各校の活動内容を積極的に発信する必要があると感じている。今後は、ふるさとキャリア教育で育った子ども達が、社会人となり、どのような成果や実績となっているのか、その具体的な姿を把握し、市民に知らせていくことも考えていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	企業博覧会によって、子ども達と企業の双方向性ができるようになった。どちらにもプラスになっていると思われる。このことを数的に捉え、客観的な成果として示せればよい。今後が楽しみである。	

# 重点施策点検・評価表

2-3

基本目標		
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化	
重点施策		
3	共感的・協働的な学び合いへの進化を図り、「学びの交響学」を創造する	担当課(館)
① 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を鍛え、「おおだて型学力」育成に向けた授業改善		学校教育課 教育研究所
活動内容	授業改善に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言を行う。また、教育専門監、授業マイスター、コア・ティーチャーを活用した師範授業の提供、教育研究所による若年教員への授業支援などの取組を充実させる。学力向上フォーラム、育ちと学び支援事業フォーラムを教職員の資質向上の絶好の機会として、一層の授業改善を進める。	
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育専門監、授業マイスターを活用して、授業力向上支援を行った。また、育ちと学び支援事業フォーラムでは有浦小学校の低学年の授業公開、学力向上フォーラムを全小中学校が授業公開したことにより、各校の授業改善が進み、「共感的協働的な学び合い」が具体的な授業、子どもの学びの姿になった。当日の公開研究会では他県の教育関係者から、教師の授業力、コーディネート力の高さ、子ども達の主体性、仲間への共感性に高い評価を得た。	
課題等	仲間と協働しながら新たな価値を創造する学びの実現に向けて、専門性の高い教材観や授業観に基づいた教師のコーディネート、学習集団で個を高める支援、学びを価値付ける振り返りの場面等に視点をいた共同研究を一層推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	学力向上フォーラムで、全小中学校が授業公開できたことは、市全体の大きな財産である。県内外の教員からの評価も高い。どの学校に所属しても「おおだて型学力」の力量を高めるチャンスがある。評価が高いのも納得できる。	
② 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善		学校教育課
活動内容	新規の「おおだて型教育発信事業」を推進し、教育アテンダント2名を活用し、大館市の教育ブランド48を発信する。各種研修や留学、教育実習、サマースクールの受入等のメニュー開発、誘致活動を行い、試行としての受入を行う。学力向上フォーラムを、外部からの評価の機会と捉え、成果と課題を検証する。	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育アテンダントは応募者がなく、8月から1名のみ採用となった。予定していた教育実習生の受け入れ(共栄大2名)、サマースクール(都内から親子10組)、教育ツーリズム(愛知教育大20名)を実現することができ、大館の教育ブランドを全国に広めつつある。H30年度は、教育視察で、40都道府県から1442人の訪問があり、特に、学力向上フォーラムにおいては、県外から489名が大館に2日間滞在している。全国からの参加者の感想により、受け入れた各々が自分達の実践や授業力が高く評価されていることを肌で感じ、自信をつけていることが大きな成果である。また、県外で大館の教育を発表する機会が22回(対象者2733人)あり、おおだて型教育を発信することができた。	
課題等	教育アテンダントが2名体制となることから、積極的に大館の教育を発信して、教育の産業化につなげていく。特に、ホームページに視察の受入を盛り込み、各学校の既存の研究会へ参加してもらうことにより、全国の教育関係者との交流が生まれ、受入校の校内研修の充実、授業改善につながるものと期待している。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大館市の教育に関心を寄せられる環境・準備ができている。手をこまねいているだけだと、また行きたくなるということにはならない。市外から来られた多くの先生方の意見が、授業改善や大館の教育の強化にもつながっていく。また、市外へ出かけ講話することは、その準備等をする中で力が付く。また、いろいろな教員に機会を与えることで全体の力量が高まる。オファーがいっぱい来ることはうれしい。	

# 重点施策点検・評価表

2-4

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する		担当課(館)
	① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する		学校教育課 教育研究所
	活動内容	小学校は平成32年度、中学校は平成33年度の完全実施を目指し、英語教育、道徳、プログラミング教育等に対応するため、関係機関と連携した推進体制を構築したり、カリキュラムの作成や教職員の研修を実施したりする。小学校外国語活動では、外国語活動支援員の配置、大館オリジナル教材を活用する。また、ふるさとキャリア教育の新たな視点として導入する経済教育の試行を各校で進める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 小学校外国語は、小学校英語推進アドバイザーを中心に「大館スタンダード」としてカリキュラム、指導案、ワークシート作成と、実施のための研修会を行い、全小学校の指導内容に差が生じない体制を構築している。また、学級担任の負担を軽減するために、全学級の授業に、外国語活動支援員を派遣している。 経済教育は、進路指導協議会員が校内推進リーダーとなって研修を受けており、学力向上フォーラムでも経済教育の授業を公開することができた。 道徳は、市教育研究会が中心となり実践を進めており、小中学校とも教科になっても順調に授業が実施されている。 プログラミング教育は、授業を提案している企業主催でワークショップを開催し、本市で可能な授業を模索している。	
	課題等	プログラミング教育は、人型ロボットを活用して、モデル授業を行いながら、本市の児童生徒の実態に合ったプログラムを開発する。 経済教育は、大館版テキストを活用して、小学校高学年～中学校に対して実践する。 その他、新たに、様々な教育を取り込むことが求められているが、現場が負担にならずに進められように市教委がリーダーシップをとっていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	新しく導入される教育に対して、先手を打って対策を講じている。 どの教科には何が大事かをしっかりと押さえて情報提供をしてほしい。また、分からない人の気持ちに寄り添った指導ができるようにしてほしい。 道徳の評価は、よいか、よくないかではなく、子ども達のよさを全体的に認めながら評価してほしい。	
	② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備		学校教育課
	活動内容	第2次学校教育環境適正化委員会により、統合について基本方針を検討し年度末には提言を作成する。(学校の施設設備、プール、給食施設の検討も含む)	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 1年半をかけ、弘前大の北原教授を委員長にした学校環境適正化委員会が協議の結果、提言をしてもらった。委員は、様々な立場、地区の代表であり、少子化の現状を把握しながらも、単に人数の多寡のみによる統廃合はせず、小学校は地域コミュニティの核としての役割から極力存続する、中学校は適正な学びの集団を確保するための統廃合や学区の再編成などの可能性、校舎や設備の老朽化への対応も同時に計画していくこと、不登校対策として、小規模集団での生活を選択できる可能性も残していくなどの提言がなされた。	
	課題等	学校教育環境適正化委員会の提言をもとに、教育委員会内に準備委員会を設置し、「学校教育環境適正化計画」(素案)を作成し、基本方針を明らかにしていく。また、給食関係施設は老朽化による現状を踏まえ、早い段階で給食センターに統合するよう検討していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	統廃合は、人数が多いか少ないかのみによって行わないようにしたい。 小学校は、地域の中心。保護者の思いもある。時間をかけた方がよい場合が多い。毎年のように保護者に働きかけていくことが大事。将来の子ども達にとってベターかどうかを判断材料にしてほしい。 難しい課題であるが、がんばってほしい。		

# 重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	① 達人講座の実施
	生涯学習課
活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、17講座を実施する。 入門講座の要素を持ったものが主流であるが、茶道と大館曲げわっぱ太鼓は複数年受講し、技術の上達が見られる。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 年度当初は、19講座を予定していたが、講師の都合により2講座は休講、1講座は募集しても応募者が無かったため中止し、16講座を実施した。 平成29年度16講座開設(うち、申し込み無し2件) 平成30年度19講座開設(うち、申し込み無し1件、休校2件)
課題等	講座数が年々減りつつあるため、人財名簿の更新を行い、新たな講座の開設に努めた。 今年度より、前期、後期、通年の3パターンで募集し、より受講しやすい体制づくりを行った。
学識経験者等の意見	いろいろなことをやっていけば児童の興味や関心をひろうことができる。興味を持ってもらうこと、続けていくことが大事である。人数を集めるのは大変なことだが、待っている市民もたくさんいるので引き続き頑張っていたきたい。部活に入っていない子やスポーツの苦手な子にも良い取り組みである。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場で活用を促す環境の整備を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) これまで登録していても利用実績がない人や団体があったため、継続するかどうかの確認を行った。結果、50人、16団体を名簿に掲載する。 平成29年度 登録133人 12団体 平成30年度 登録50人 16団体 (実際に活動できる人になった)
課題等	人財名簿登録者の高齢化による名簿取り消しが相次ぎ、登録者は年々減少してきている。平成30年度より人財名簿設置要綱を作成、名簿のレイアウトや利用方法を一新し、使いやすい名簿にすることで、登録件数増加及び講座開講を促していきたい。
学識経験者等の意見	作りっぱなしでなく、きちんとチェックしながら使いやすいものにしていく努力は評価できる。他の人のために自分の持っている知識・技能を提供してくれる人材は大切だ。情報を集めるのは大変だと思うが、自薦のみでなく他薦でもよいのではないか。地区公民館などに情報あるかもしれないので活用してはどうか。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

# 重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	生涯学習課
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(53講座)」を実施する。 平成29年度48講座 平成30年度53講座
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 平成30年度は、172件15,353人が受講し、昨年度より46件、4,705人の大幅な増加となった。 ワンだふるはちくんダンス講座に加え、特別メニューはちくんあいさつ運動の希望者が多く、大幅増加の要因となった。
課題等	ワンだふるはちくんダンス講座は、座ったままでも可能な「初級編」もメニューに加えて、幅広い市民に受講を促したい。また、防災や環境といった生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。
学識経験者等の意見	引き続き市民の学習活動を支援していただきたい。昨年の大文字まつりで、市のトップである市長や教育長が市民の前で「はちくんダンス」を披露するところを拝見したがビックリした。この取り組みへの市民の親しみが生まれるためにもすごいことである。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 各公民館で、小中学生を対象とした事業を休日や夏・冬休みに実施した。「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしる学舎」などの通年事業や、「将棋・囲碁教室」、「夏・冬まつり」、「算数・数学教室」、「新春書初め」などの単発事業。 高校生まちづくり会議「HACHI」では、「肉博」や「おおだてハッピー子育てプロジェクト」などのイベントに初参加し、来場者と交流を深めた。
課題等	青少年の参加を高めるために、小中学生を対象としたイベントや活動を企画することが必要である。新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を拡げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。
学識経験者等の意見	「新春書初め」は老壮大生や桂桜高校生が講師を務め、世代間交流にもなり大変いいと思う。小学生時に参加した子が中学生になっても参加できるように会場を工夫して実施してほしい。将棋連盟大館支部が講師を務める「将棋教室」は大人気だが、礼節の指導も含め、今後も頑張って継続していただきたい。 わんぱくスクールのロケット宇宙授業を、市内の全小学生が参加できるよう、学校教育課に所管を移して実施するよう検討していることは大変いいことだと思う。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

# 重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	① 学校支援活動事業の推進		生涯学習課
	活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々ボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 地域の方々から農業や調理の指導を受けることで、学校農園等で農作物の栽培や地場産商品の開発を学び、きりたんぼまつりやアメッコ市、ひない商人祭りなどで出店・販売するなど、地域行事を盛り上げている。また、地域の伝統芸能である「太鼓」や「舞」について、地域の伝承者から学ぶ機会を設けるなど、各学区ともさまざまな活動を通して、子どもたちの成長を支えるとともに、地域の活性化に努めた。 各学区で活動している地域コーディネーターの委嘱化により、大館市での立場を明確にし、地域コーディネーターの活動を容易にするほか、地域コーディネーター間の連携を強化するため、「大館市地域学校協働推進員設置要綱」を制定した。また、1月25日には、26人の参加で連絡会議を開催した。	
	課題等	来年度から各学区の地域コーディネーターを、「地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)」として委嘱し、コーディネーター業務の円滑化と情報共有化を図ることで、学校と地域の連携活動の一層の充実に努める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	学校側にとって、先生たちにはないノウハウを持った地域の方々の存在はありがたいものである。さらに、その情報の共有化を図るためにも継続して取り組んでいただきたい。	
	② 家庭教育の充実		生涯学習課
	活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長年継続している「おしゃべり広場ひだまり」を前期・後期併せて12回実施。今年度は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方が子育てカフェ、食育をテーマとした料理教室、ものづくり体験講座、エクササイズなどを行い約280名の参加があり、参加者からは好評であった。 「子育て講座」は、40団体から申請があり予定通り実施、約2,100名の参加。平成29年度から行われている「家庭教育支援チーム推進事業」は、生涯学習フェスティバルと本場大館きりたんぼまつりにおいて木育ひろばを出店。各々約320名、約980名の親子が訪れた。昨年度から継続している「担当者スキルアップ研修会」は、あきたっ子を健全に育む会の会長を務める柴田静寛氏を講師に招き、子どもとの関わり方や子どもの権利の大切さなどを学び、約70名の参加があった。	
	課題等	「おしゃべりひろばひだまり」の参加者数を思うように伸ばすことが出来なかったため、開催日や内容の見直しを行い気軽に参加できるように改善を図っていききたい。またチラシ・ポスターのデザインの見直しやSNSを活用するなど広く市民に周知し参加者増に繋げたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	核家族化で手助けや相談相手もなく、スマホ検索くらいしか頼りとするものがない若い世代の子育て夫婦にこそ、ぜひとも参加してもらいたい。子育て・孫育てから今後は親育てと、意義のある活動であるので引き続き周知を図ってほしい。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)
	③ 音楽療法士派遣事業	生涯学習課
	活動内容	継続事業として、市内幼稚園、保育園、小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成30年度は要請のあった市内の4小学校・1中学校の特別支援学級や、3保育園の気になる子を含めた保育園児を対象に全24回の派遣を実施した。 学校の先生と音楽療法士が協力して音楽療法活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
	課題等	一層の活動PRに努めるとともに、なるべく多くの学校等に派遣できるよう、音楽療法士の派遣スケジュール及び派遣回数調整・対応に努める。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	特に自閉症の子どもたちへの好影響は実感している。回数に限りもあるようだが、実施している学校に、他の校区からの参加ができる方法なども検討できないものか。
	④ 青少年健全育成活動の充実	生涯学習課
	活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 7月7日(土)の「青少年を非行から守る市民のつどい」は、あいにくの雨天となったため街頭パレードは中止し、中央公民館の視聴覚ホールを会場に約250人の参加で開催した。大館曲げわっぱ太鼓の公演、防犯文集朗読発表を行い、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。
	課題等	街頭パレードは行えなかったものの、中央公民館会場での参加者としては例年より多くなった。今後は街頭パレードの開催を見直したい。 小学生からインターネットを活用している家庭が多くなっているため、子どもたちがインターネットを正しく使えるよう、家庭内でのルール化・セーフティ機能の必要性を周知していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	本来は横断幕を掲げてパレードが昔からの光景なのだろうが、効果や状況を考えればパレードなしもやむをえない。青少年の健全育成のため、取り組み自体は継続してほしい。パレードをやらないのであれば、ドームでの開催を検討してみてもどうか。	

# 重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)	
	⑤ 少年相談センターの活動の充実	生涯学習課	
	活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おおとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、青少年に限らず相談者の抱える問題解決に努めている。また、少年指導員の活動として市内全コンビニ巡回による子ども見守り依頼や街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、青少年の健全育成活動に努めた。	
	課題等	年々、相談件数は増加傾向にあり、ここ数年では年間100件以上が常態化している。また、相談内容も青少年問題に限らず親世代のトラブルや貧困問題など、多岐にわたるケースもあり、相談対応者への負担が懸念されるため、相談専門員の増員が望まれる。(平成31年度当初予算措置済み)	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	増員はとても良いこと。さらに、うってつけの人材も見つかったようなので今後とも頑張ってください。ただセンターで待っているのではなく、積極的に学校を訪問したりしていることが大変評価できる。この体制をぜひとも継続してほしい。	
	⑥ 関係機関への支援	生涯学習課	
	活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、同団体が主催する「青少年育成推進事業2018シンポジウム」の開催補助など、各活動・事務面において支援している。	
	課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなっている団体もある。今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	直接市民の目には触れないが子どもたちを育てるための大切な部分を担っているので、各団体や、特に指導者にも応援してあげてほしい。引き続き支援の継続をしていただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑦ 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 北教育事務所主催の学校訪問や教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会への参加を通じ、各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認した。各種会合等でふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動、市民版ふるさとキャリア教育の推進につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行った。 平成30年度 のべ参加人数30人	
	課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	学校への関与が少なかった時代に比べ、社会教育委員の学校訪問などが定着し大変ありがたいことである。学校オンリーではなく学校以外の部分から子どもたちが得るものは大きく、逆に地域へ還元できるものもあるはず。継続していただきたい。	
	⑧ 生涯学習推進体制の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 生涯学習推進協議会については、7月に幹事会(書面協議)、9月14日に協議会を開催。平成30年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。 また、生涯学習奨励員については、個人活動のほか、総会・自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加・協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。	
	課題等	生涯学習奨励員について、会議・研修会等への参加者に偏りが見受けられるため、より多くの奨励員が参加できるよう日程等について配慮を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	人生100年とも言われ社会人の学び直しが検討される昨今、リタイヤしてからではなく、今何かを学ぶことが大事になる。じっくりと意見交換をし、そのために何ができるかを考えていってほしい。		

# 重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実		中央公民館
	活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	中央公民館をはじめ、各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、「老壮大学」などの高齢者事業を全館で実施している。公民館祭や地区文化祭などで、活動の成果を発表する場を設けている。また、各地区のサークル活動でも高齢者が活躍する機会が多く、中央公民館の書初め交流会では、老壮大学の書道サークルが子どもの指導をしているほか、地区公民館でも子どもとの世代間交流事業を行っている。	
学識経験者等の意見	超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、中央公民館の老壮大学など高齢者事業の参加者は毎年減少している。特に近年は60歳を過ぎても就労している方が多く、新規の参加者が少ない。		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	高齢者が月1回でも外に出て、仲間と学ぶ場所があることは素晴らしいこと。老壮大学の活動日を固定することで、地区館は別の曜日にしてどちらにも参加できるようにしているのはいいと思う。また、高齢者だけの事業にしないで、子供たちとも交流できるようにしていることは継続してほしい。		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		
課題等			取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見			

# 重点施策点検・評価表

3-3

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する	担当課(館)
	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施	中央公民館
	活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われたので、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により21人となったが、主体の3年生が卒業すると、来年度以降の活動に支障が無いかが危惧される。また、大学との連携は、行事スタッフのボランティア派遣をお願いしながら、地域の事業への参加を呼び掛けていく。
	学識経験者等の意見	高校生の活動は地元紙で時々記事をみかける。活躍が記事になることでメンバーが増えるといい。積極的に情報発信してほしい。大学生との事業は、学校の夏休みが長いことを考えると、大学側と日程のすり合わせをできるだけ早く、まめに行きたくて協力をいただくなど頑張してほしい。
	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施	生涯学習課
	活動内容	平成30年度をひとつの区切りと位置づけ、これまでの活動に関する報告会を実施。一般市民及び市内の小～大学生を対象に大館の『元気づくり』活動を再認識・再発見する機会を設けるとともに、ボランティア活動への興味・関心の育成を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	事業自体はいったん休止とするものの、未だ大震災の傷跡は残っているため、被災地支援を続ける団体や個人へは、可能な範囲で継続して支援していきたい。	
学識経験者等の意見	非常に良い取り組みだった。補助終了で廃止となるようだが、またいつか新たな取り組みをするために、マンネリ化せず区切りをつけるということも時には必要である。コーディネーターは、個人的なボランティア活動を継続しており、それも含めすばらしい事業であった。	
取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	

# 重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施		生涯学習課
	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高めるとともに、本年は、干支が「戌」であることから、「犬をテーマにしたイベント」を開催する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 9月・10月を生涯学習推進月間とし、栗盛記念図書館や勤労青少年ホームなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は13,388人となった。※平成29年度12,108人。 また、中央公民館会場では、9月22日・23日の2日間にかけて中央公民館サークル協議会や大館桂桜高校、鳳鳴高校、大館市発明協会のほか多くの団体等から協力を得て、各種展示・発表会の開催や体験ブースを設けることで、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。	
	課題等	生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぼまつりなど各種イベント・行事が非常に多く、日程の重複を完全に避けることが難しい。また、市民文化会館・中央公民館の駐車保有台数は会場の大きさに比べてかなり少なく、城南小学校等を使用しても混雑を解消できていない。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	フェスティバルにおいては、生涯学習奨励員などの活動も促し、子どもたちにも活躍の場を増やすメニューを検討のうえ実施していただきたい。	
	② 「大学公開講座」の実施		生涯学習課
	活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 第24回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月3~5日の日程で開催し、大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。今年度は成年後見をテーマに取り上げたことにより、介護職の参加者が多く、ここ10年で最高人数のとなる、のべ257人が受講した。 また、新規事業として、秋田職業能力開発短期大学の協力のもと12月7日、14日、25日の日程で「大学校公開市民講座2018」を開催した。まち育てやものづくり技術、プログラミング教育について大学校の教授陣がわかりやすく講義していただき、のべ55名の参加があった。	
	課題等	大学側には、毎年、テーマ設定や講師の選定で骨を折っていただいているが、健康、医療、福祉、ボランティア活動など、市民のニーズに沿ったテーマを選定し継続して開催することが必要である。 「大学校公開講座」は、年末の開催となったため、開催時期の見直しが必要。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	講座の内容が、市民の最近関心あるテーマにマッチしていて良かったのではないかと。これからも、どう生きるかを考えることのできる講座を継続していただきたい。		

# 重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	③ 地域活動団体への支援		生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	市予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	今後も、市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続ける。 平成30年度は、前年度同額で交付したが、財政より来年度以降、繰越額の有無による判断を求められている。	
	④ 地区住民や関係団体との連携強化		中央公民館
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。 特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	地区公民館では、運動会や文化祭などの行事を地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域や団体の意見を反映させている。また、消防署や危機管理課の出前講座を活用した防災講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は12館中、中央、釈迦内、下川沿、真中、矢立、比内公民館で総合防災訓練や防災講座、避難所開設、応急処置や炊き出しの体験事業を実施したほか、上川沿、二井田を除く全館(10館)消防避難訓練を実施した。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。 定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。		
学識経験者等の意見	日頃から非常時の備蓄チェックカードを備え、発電機も月1回作動チェックしているようなので、「いざという時」に備えてほしい。		

# 重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)				
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化	中央公民館				
	活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていきたい。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成28年度の長木公民館の新築及び矢立公民館の移転改築で、地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。 また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠な修繕で対処しているが、地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。				
	課題等	地区公民館分館は15館あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたり、その間に突発的な修繕が多々発生する。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input type="checkbox"/> 単年度					
	学識経験者等の意見	建物の年数が経っていくと修繕が必要な部分が多くなる。エアコン設置は後回しになるようだが、人的被害を及ぼすようなものや、施設の維持に支障を来すような箇所の修繕を優先して計画的に行ってもらいたい。				
⑥ 公民館事業の充実と参加促進	中央公民館					
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 8月11日、ニプロハチ公ドームで夏期巡回ラジオ体操会を開催し、市民1,600人が参加した。NHKラジオを通じて、ふるさと大館の元気を全国に発信することができた。また、各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り、集約している。それらを活かして、今後の事業に反映するように努めている。					
課題等	事業内容がマンネリ化しないように、NPOや出前講座の利用、他自治体の事例を参考にしながら、事業を充実させるとともに、新規講座の構想を練っていきたい。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見	地区館で、公民館の事業や活動内容を地区住民に知ってもらうため、毎月「公民館だより」を発行し、全戸配付していることはよいこと、継続してほしい。中央公民館もホームページ版や館内掲示などで発行するよう頑張してほしい。					

# 重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
	⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施	生涯学習課	
	活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度も各児童クラブごとに特色ある事業を展開し、直営全体でのドッジボール大会や初めてとなる「ふるさとカルタ大会」も盛況に行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。 また、支援員の情報交換やスキルアップを目的として毎月行われている定例会・研修会では、多彩なメニューで学習を積み重ねるとともに、直営のみならず委託の支援員との合同研修も行き、支援員のスキルアップを図り、児童の安全・安心な居場所づくりに努めた。	
	課題等	障害児等、支援を要する子どもについて、従事する支援員を適正配置できるように、協議しながら、事故・けがのないように努めていきたい。 求人倍率が最高水準を更新しており人手不足が顕著であるため、支援員にも欠員が生じている。引き続き、支援員の確保に努めたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	カルタやドッジボールで他校の児童と交流できるのは非常に良い経験になるのでぜひ継続していただきたい。不審者も多く、安全確保の心配もあり、また支援員不足で現場はギリギリの状況だと思う。適正な運営管理をしていただきたい。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		

# 重点施策点検・評価表

3-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理		生涯学習課
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、図書館利用者へのサービス向上を図り「生涯読書」活動を推進し、読み聞かせ会や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じ、親しみやすい図書館を演出し、利用者の増加を図った。 また、防犯カメラの導入、入館者数のセンサーでのカウンター導入など、環境整備も行った。	
	課題等	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	学校では、読書指導を実施しているが蔵書の冊数は限られている。図書館に来ればこんなにいろんな本があるよという、図書館利用指導を学校とタイアップしてはどうか。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見			

# 重点施策点検・評価表

3-6

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		担当課(館)
	① 芸術文化団体への支援		生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 補助金:大館市419千円 比内112千円 田代112千円	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。	
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	伝統文化・伝統芸能の保存のため、今後も支援を継続していただきたい。	
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用		生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行い、平成30年度には3校で実施。平成31年度も申請した5校がすべて採択されている。さらに、平成30年度は新規事業で文化庁補助の大館市伝統文化親子教室(地域展開型)を実施し大変好評であった。	
	課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、2年目として手法を変えて実施予定。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	芸術文化体験の機会提供は、非常に大事であるので継続していただきたい。また、事務手続きなどについてより一層のサポートをお願いしたい。		

# 重点施策点検・評価表

4-1

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する		担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信		歴史文化課
	活動内容	HPの更新や、ツイッター、フェイスブックの情報発信目標を、年間100件と設定して取り組む。郷土博物館は、前半一部閉館となるが、銀座清澄画廊展、埋蔵文化財センターの展示などは継続して開催の予定。展示以外の情報や、ニホンザリガニの飼育情報など、当課の持つ様々な情報を効果的に発信できるように取り組む。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%)    (80~94%)    (80%未満)	
	課題等	新聞、広報、HP、ツイッター、フェイスブックなど様々な媒体での情報発信が行われる時代となっているが、それぞれがどれだけの効果を上げているかを確認することは難しい。特にツイッターやフェイスブックは、即時性の高い媒体なので、こまめな情報発信が必要である。そのため、データのアップロード及び決裁等の手続きが煩雑であることが課題である。	取組の方向性
	学識経験者等の意見	若い世代が関心を持ってくれることが重要。目標達成で終わりではなく、継続して情報発信することに力を注いでほしい。	
	② 秋田三鶏記念館の孵化事業の安定化		歴史文化課
	活動内容	入卵数の目標を受け入れ上限である400個に設定し、有精卵の70%を上回る孵化率を目標として、平成30年3月から6月まで実施する。保存会の高齢化が進んでいることもあり、県の試験場などとの連携も考えて参りたい。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%)    (80~94%)    (80%未満)	
	課題等	入卵数が2年続けて減少の傾向となっているため、何らかの対策を考える必要がある。会員の高齢化も大きな要因であるが、この点はすぐに解決できる問題ではない。気象条件については、入卵時期を遅らせるなどの対策を試行してみたいと考えている。	取組の方向性
学識経験者等の意見	三鶏が大館由来であることを知る市民が少ないと感じる。高齢化を打開するには若い人に興味を持ってもらうしかない。県の試験場との連携は、まず文書等でアプローチしてみるなどしてみてはどうか。挑戦していくことが大事なので、継続して取り組んでください。		

# 重点施策点検・評価表

4-2

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する		担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進		歴史文化課
	活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する各団体の芸能の記録保存に努め、発表や公開の機会を支援する。また、大館市文化財保護協会の事業を支援し、市内に存在する文化財の公開や保護に努める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館市文化財保護協会の主催する文化財展覧会を補助金を支出し、市内に存在する文化財の公開や保護に努めた。また、大館市郷土芸能保存協会加盟団体にも補助金を支出し、文化遺産活用まちづくり実行委員会への参加を働きかけた。また、生涯学習課で開催した伝統文化親子教室にも郷土芸能保存協会の構成団体の一部が協力することができた。	
	課題等	両団体ともに高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい時代を迎えている。文化遺産活用まちづくり実行委員会への参加により、一つでも多くの郷土芸能が活性化して、後世に引き継がれて欲しいものだが、自ら企画運営する力量が求められるため、参入しにくい側面もある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	公民館や学校と連携し、地域の児童生徒を巻き込んで、伝統文化の伝承を考えていくことが重要。伝統文化親子教室は、良い試みであると感じる。		
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		
	活動内容		

# 重点施策点検・評価表

4-3

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
3	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		担当課(館)
	① ニホンザリガニ生息地の再生を目指す		歴史文化課
	活動内容	天然記念物としてのニホンザリガニ生息地再生を目指し、ニホンザリガニの飼育と繁殖に取り組み、その技術習得に努める。今年度は抱卵から産卵、稚ザリガニの育成が実現できるように願っている。また、人工生息地については、実施設計を行い、次年度の工事につなげられるように取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 飼育しているニホンザリガニを郷土博物館で公開したほか、長木小、城南小、扇田小に飼育水槽を巡回展示した。また、ニホンザリガニの増殖にも挑戦し、交接、抱卵、孵化に成功し、年度末現在で10匹の稚ザリガニの生息を確認している。人工生息地の実施設計も完成し、次年度の工事に備えることができた。	
	課題等	水槽によるニホンザリガニの飼育・展示については、是非ともつづけてまいりたい。稚ザリガニの飼育については、初冬の水温急降下期に死亡率が上昇したため、ヒーター導入など改善を試みる。また、大館鳳鳴高校生物部のほか、県内外の水族館など、連携の輪を広げる必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	ニホンザリガニは、子どもたちが興味関心を持つ良い素材であると思う。学校巡回展示は、良い取り組みと感じる。今後も継続できるよう検討をお願いする。	
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理		歴史文化課
	活動内容	新庁舎建設に伴う予定地の発掘調査は、掘部分が671㎡、その他228㎡となっている。矢板の設置はすでに終わっているので、5月中旬から本格的な調査を始め、10月末の完了を目指す。今年度も5~6mの深さまで調査することになるので安全管理に気を付け、庁舎建設推進室をはじめ、関係部局と連携をとりながら進める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 新庁舎建設に伴う予定地の発掘調査は、目標通り、10月には完了することができた。10月13日に開催した現地説明会には、100名を超える市民の参加があり、関心の高さが伺えた。	
	課題等	新庁舎の建物建設予定部分については終了したもの、市民体育館、武道館の解体、現庁舎解体など、まだまだ事業が続くため、関係部局とは綿密に協議を重ねながら事業を進める必要がある。また、対市民的には、様々な調査の結果、現在どのような成果が上がっているか、できるだけ早いタイミングで情報提供する必要があるが、調査に追われ手が回っていないのが現状である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	「大館城に興味はあるが、博物館に出かけるのはちょっと遠い」という市民が多いと思う。将来的に新庁舎の近くに『歴史館』的な施設を作ることにはできないだろうか。財源の事情もあると思うが、検討してほしい。発掘調査事業は、事業の最後まで継続して確実に調査してほしい。		

# 重点施策点検・評価表

4-4

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
4	歴史的風致維持広報計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		担当課(館)
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織の支援に努める		歴史文化課
	活動内容	「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の発足が実現し、文化庁の補助事業も採択されたことから、今年度から具体的な事業に取り組むこととなる。事業の主体は、民間の実行委員会であるが、事務手続きは歴史文化課が主体的に支援する必要がある。まちづくり課とも連携しながら、予定されている事業が順調に進むように支援を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	文化遺産活用まちづくり実行委員会の予定していた事業(ヘリテージマネージャー養成講座、大館ばやし教則DVD、文化遺産パンフレット、文化遺産ホームページ作成など)は、無事に予定通り実施することができ、実績報告にこぎつけることができた。事業の実施に当たっては、まちづくり課とも連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも十分に協議することができた。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	歴まち計画のソフト部分を受け持つ事業として期待が高いものの、問題解決の起爆剤として取り組もうとする文化財関連団体が少なく、更に多くの団体等の参入を働きかけ、前向きに取り組む雰囲気を作りたい。	
	学識経験者等の意見	高齢化が進む文化財関連団体が、事務が繁雑だからと補助事業に手を上げないのは理解できる。手助けは大変かと思うが、人的支援を考えると、取り組む団体も出てくると思う。	
	② 重要文化財大館八幡神社の覆い屋改修に取り組む。		歴史文化課
	活動内容	重要文化財大館八幡神社を保護するために、かねてから準備してきた覆屋の建て替えについては、今年度から実施設計に取り組むこととなった。当事者、市、県、文化庁の連携をとりながら、次年度以降の事業に支障が出ないように取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等	当事者、市、県、文化庁との連携をとりながら、予定通り実施設計を完成することができた。また、まちづくり課とも連携し、国交省の所管する歴史的風致形成建造物の改修事業と、文化庁補助事業との調整も行うことができた。		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	次年度はいよいよ、覆屋の改修工事に取り掛かることになる。第一に、重文本体に影響を与えないように、工事の方法や段取りについて打ち合わせを重ねながら、進める必要がある。実施主体(八幡神社)、県、文化庁と事業内容や予算などについて協議し、遺漏の無いように取り組む。		
学識経験者等の意見	大館の貴重な文化的財産。後世に確実に残せるよう保護してください。		

# 重点施策点検・評価表

5-1、5-2

基本目標		
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充	
重点施策		
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	担当課(館)
	① スポーツ関係団体との連携・支援	スポーツ振興課
	活動内容	<p>体育施設の指定管理者である体育協会や競技団体と連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。</p> <p>今年で6回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、スポーツの習慣化へのきっかけ作りと位置づけ、推進する。また、各種大会等の開催・運営にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが困難になってきている現状である。各競技団体との意見要望を踏まえ、人的支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。</p>
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。</p> <p>また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会などにおいて、市又は実行委員会で運営ボランティアの募集・活用することで、人的支援が図られた。</p>
	課題等	<p>市内の総合型スポーツクラブ(BTO、ひない、たしろ)の活動については、BTO(ブレイジングトルシエダ)はすでに自立し、活動も順調である。後発のスポーツクラブひない及びたしろスポーツクラブについては、31年度から比内・田代地域の体育施設の指定管理者に選定され、両スポーツクラブとも各種自主事業を計画している。自主事業実施による会員の確保など、自立に向けて、市として指導、助言に努めたい。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>担当課からの各種団体への働き掛けにより、大会運営等の人的支援が図られてことを評価する。山田記念ロードレース大会が、66回も継続実施できていることは、陸協はじめ関係団体と適切に連携が図られていると考える。地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進も評価する。</p>	
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める	担当課(館)
	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成	スポーツ振興課
	活動内容	<p>スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支えているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。各競技団体やスポーツ少年団指導者協議会と連携を図り、長期的な指導者の発掘・育成に努める。また、地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。</p>
	点検評価	<p><input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超)    <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%)    <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%)    <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>今年度もスポーツ少年団活動の現地視察を市スポ少本部と実施し、現状把握と指導者要望に対応してきた。また、市内各スポーツ少年団の活動実態・傾向等を把握し、今後の望ましいスポーツ少年団活動の基礎資料とするため、市スポ少本部とスポーツ少年団指導者協議会がアンケートを実施した。地域スポーツ振興へ大きな役割を担うスポーツ推進委員においては、各地区スポーツ事業へ中心的に参画し振興を図っている。</p>
	課題等	<p>社会体育化6年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、引き続き長期的に指導できる者の育成、定着を図っていく必要がある。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>スポーツ少年団指導者の発掘・育成については、他地域の現状把握・比較することが重要。意欲的に取り組む保護者を、指導者として育成・バックアップすることが、指導の継続に繋がると思う。学校団の長所を生かした、大館モデルを模索して欲しい。</p>	

# 重点施策点検・評価表

5-3、5-4

基本目標			
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
3	2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		担当課(館)
	① 2020東京オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進		スポーツ振興課
	活動内容	2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けて、県と連携し、タイ王国を相手国としたホストタウン事業を推進する。今年度、9月に日本でバレーボール世界選手権が開催されることから、出場するタイ王国女子チームの応援事業を実施する。また、タイ王国を訪問し、誘致活動を展開し、事前合宿視察団の受入れを目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) タイ王国女子バレーボール代表チームの事前合宿の誘致活動を進めてきたが、5月8日に鹿児島県鹿屋市とタイバレーボール協会が「事前キャンプに関する覚書」を締結したことから、誘致を断念した。 7月にパラリンピック競技の事前合宿誘致のため、タイ王国パラリンピック委員会及びタイ王国脳性麻痺スポーツ協会関係者を招致し、視察を実施した。 10月にタイ王国脳性麻痺スポーツ協会と、秋田県及び大館市でパラリンピック競技の「ボッチャ競技」と「陸上競技」の事前キャンプ実施に関する覚書を締結した。さらに12月には、同国のボッチャ選手を含む関係者を招聘することができ、これに合わせて基本合意書の調印を実施。より強固な関係構築とともに、パラリンピック競技の体験会を開催することで同国選手を含む関係者と市民との交流機会を設けることができた。	
	課題等	大館市が事前キャンプ地に決定したことにより、代表チームを万全な状態で送り出せるよう受け入れ体制を構築する。 事前キャンプ実施のみならず、交流計画に基づき、タイ王国との教育・文化・スポーツの相互交流事業の取り組みを推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	タイ王国女子バレーボール代表チームの事前合宿誘致を断念したものの、同国パラリンピック競技の「ボッチャ競技」と「陸上競技」の事前合宿の基本合意を締結できたことを評価する。また、事前合宿を契機として、スポーツのみならず、教育・文化まで交流事業を拡げていることを評価する。市民へのボッチャ競技の周知、選手団受入れに向けた支援の取り組みに期待する。		
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化の推進		スポーツ振興課
	活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。スポーツイベント誘致を促進するため、補助制度を継続する。また、合宿誘致では、東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 東京都、北海道などで競技団体、大学、高校への誘致活動を行ったほか、北海道・東北地区の大学などへのパンフレット送付及び施設利用可能日の周知など広報活動を実施し、16団体(前年比△3団体)、344人(前年比△14人)の利用があった。 スポーツイベントについては、4月の「バスケットBリーグ大館大会」(4,400人)、山田記念ロードレース大会(1,555人)、3月の「バスケットBリーグ大館大会」(5,500人)が開催され、約11,000人の誘客が図られた。前年度は、ミニ国体、ベースボールクリスマスで18,450人の誘客があったため、比較実績では下回ることとなった。その他、7月には日独スポーツ少年団同時交流事業、8月には日韓ソフトテニス交流事業が実施された。	
	課題等	合宿誘致については、平成28、29年度利用団体の継続利用と新規利用団体があったものの、利用団体、宿泊者数とも前年度より減少した。今後は、ターゲットとして想定される地域での誘致活動や、新たな競技種目や団体への誘致活動を行う必要がある。 スポーツイベントについても、体協及び各単協と連携を図りながら、引き続き誘致を進め、交流人口の拡大を推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	合宿誘致について、継続利用(リピーター)を増やし、現行数をキープできるよう頑張ってもらいたい。イベント誘致についても、各種団体と連携して、チャレンジしてほしい。これまでの努力は認められる。		

# 重点施策点検・評価表

5-5、5-6

基本目標	
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充
重点施策	
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する
	担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進
	スポーツ振興課
活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し、スポーツ施設の相互の広域利用を推進する。近隣市町ならではの体育施設(ニプロハチ公ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 秋田県陸上競技協会の要請により、9月に秋田市で開催された「第23回東北高校陸上選手権大会」に必要な備品等の貸し出しを行ったものの、施設の広域利用に関する各自自治体担当者部署との協議を実施することができなかった。 今後、市内体育施設の改修時の代替開催地の要請を行うとともに、プールやパークゴルフ場等相互利用の取り組みを検討する。
課題等	少子高齢化、人口減少により各自自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進する。 大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し担当部署レベルでの協議を促進する。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	評価に係り、目標と活動内容とにずれがないか、方向性を再点検することが必要である。プール、パークゴルフ場の整備については、多額な費用を要するが、高齢者の健康づくりに観点を置いた施設整備を検討したらどうか。
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める
	担当課(館)
	① 花岡総合スポーツ公園及び二ツ山総合公園幼児エリアの整備、老朽化体育施設の統廃合
	スポーツ振興課
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的なスポーツ交流の拠点として、花岡総合スポーツ公園の整備計画(体育館、武道館の改修)を推進する。</li> <li>・二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地に水遊び場や総合遊具、トイレを設置するなど、幼児エリアを総合的に整備する。</li> <li>・スポーツ施設について、利用者の安全性の確保が図れるよう、計画的な改修及び修繕に努める。</li> </ul>
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) ・花岡総合スポーツ公園において、体育館、武道場の改修整備し、1月11日にオープニングセレモニーを開催、利用開始した。 ・二ツ山総合公園幼児エリア整備事業において、水遊び施設、休憩所が6月末に完工し、7月9日一部利用開始し、9月9日までの間に、5,343人の利用があった。幼児エリアの芝生、遊具の敷設などの整備が11月末で完工し、平成31年4月に全面オープンした。 ・長根山陸上競技場、二ツ山総合公園管理棟のトイレ洋式化の改修を実施した。
課題等	花岡総合スポーツ公園について、施設整備に向けて整備計画を策定する。 老朽化が進んでいる体育施設について、解体等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者の再配置を実施する。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	花岡総合スポーツ公園の体育館、武道場の改修整備を大きく評価したい。二ツ山総合公園の整備について、子育て世代が行きたくなるような施設にリニューアルしたことを評価したい。トイレ洋式化について、市民の生活様式の変化に対応した施設改修を評価したい。遊具の安全対策をお願いする。